



ははそ ♪ 柞の森音楽祭ニュース ♪

~ No.27 ~

第5回音楽祭でのご協力ありがとうございました

皆様の絶大なご支援により、第5回柞の森音楽祭は東日本大震災以後の様々な困難を乗り越えて開催され、大好評を頂き成功裡に終わる事ができました。深く感謝申し上げます。当日頂いたアンケートで夫々に楽しまれた様子やお褒めの言葉を頂き、何よりの励ましと存じております。本号では盛り上がりを見せ感動した当日の状況を再現する為写真も掲載いたしました。ご回想頂きお楽しみ頂ければ幸いに存じます。





原点を見つめて

「柞の森音楽祭」は地域の人々が、音楽を媒体として親交を深め、地域の子ども達や高齢の方々に暖かい心で接しお力になろうという齊藤美代子代表顧問（当時手広中学校校長）の発案に賛同して出発しました。昔から「遠くの親戚より近くの他人」と言われていますが、成熟した高齢社会では地域の力が欠かす事が出来ない事は誰もが気付きのことです。地域の人々が心を開いて助け合い、花の笑顔が溢れる街の実現を切に願うものです。音楽はとかく荒みがちな人の心を優しく癒してくれます。合奏し、合唱し、音楽に合わせて踊る。これは個人的な楽しみと同時にリズムを合わせ、音を合わせることは自己を確立し、他を尊重しつつより大きな喜びを分かち合うこととされています。この喜びは演ずる人だけのものではなく、共に見、聴きして感動を受ける方に等しく与えられるものと思います。

「柞」は落葉樹です。「柞の森」は春夏には豊かに葉を茂らせ秋冬には明るく葉を落とし、様々な生き物を育み、人もまた森から大きな恵みを受けて来ました。この音楽による集団そのものが我々の憩いの「柞の森」であって欲しいと考えます。状況の変化に柔軟に対応しつつも我らの誇れる原点を見失うことなく、「柞の森音楽祭」が永遠の発展を遂げることを願うものであります。



第6回開催に向けてスタートしました



■ 第1回実行委員会（6月6日）

新組織と担当者名が公表されました。若干の交代がありましたが、熱意ある頼もしいベテランが顔を揃えております。

「23年度決算報告・24年度予算案」の会計報告と、

「東日本大震災鎌倉避難者支援交流会収支明細書」が提出され了承されました。

友の会会員、合唱団員、柞の森吹奏楽団員の大募集を行っています。ご協力をお願いします

■ 手広中学校吹奏楽部

既にお馴染みいただいておりますが今年も例年通り西鎌倉祭り、手広祭りで演奏いたします。第6回音楽祭では、今年の吹奏楽連盟のコンクールの参加曲に磨きをかけ演奏に臨む予定です。

■ 柞の森合唱団

昨年、西鎌倉商店街祭や鎌倉路地フェスタ等で演奏しましたが、今年も地域の要請にこたえる活動を続けて参ります。第6回音楽祭での演奏は「嬉しい雛まつり」「二つの雨のうた」「靴が鳴る」「証城寺の狸囃子」何れも皆さん誰もが知る曲目ですが編曲が素的。堀部先生の行き届いたご指導の下、5月から楽しく練習を始めています。例年にない進捗状況と先生もご満悦です。

■ ダンス部

毎回、好評・大喝采を受けています。

第6回音楽祭でも期待に応じて素晴らしいステージを展開することでしょう。



■ 柞の森吹奏楽団

地域のベテランを中心とする演奏家集団による演奏、充分ご期待にお応えすることでしょう。

第1号から担当して参りましたが今号をもって引退させて頂きます。長きに渡るご支援有難うございました。以後は優秀なスタッフとして今日まで私を助けてくれた有力メンバー後藤、岡崎の両氏が担当されます。宜しくお願いします。（関口）

発行日：2012年7月5日

発行：手広中学校・柞の森音楽祭

広報担当：関口功、後藤愛子、岡崎美奈子

問い合わせ先（関口）32-6916